

平成 27 年 7 月 4 日

広域環境保全局

## ニホンジカ等の広域的な鳥獣対策の推進について

—モデル地域と人材育成プログラム参加者の募集—

○背景 ニホンジカの生息数の増加や生息範囲の拡大に伴い、府県境の山岳地域においてニホンジカの食害により森林の衰退や土壌浸食等を引き起こしているが、これらの地域でのニホンジカの捕獲は十分されていなかった。こうした中、国においても鳥獣保護法が改正され専門的な知識や技術等を有する鳥獣行政職員の配置、資質向上が求められている。

## ○目的

- ・重点地域等をもとにモデル地域を設定し、新たな捕獲手法も導入した効果的な捕獲を行う取り組みを試行する。
- ・事業主体として鳥獣の捕獲を実施するため、必要とする知識、技術を習得し、適切かつ主体的に事業を監理・監督する人材を育成することにより捕獲の拡大を図る。

## ○平成 27 年度の実施内容

## 1. モデル地域での効果的な捕獲の検討

モデル地域を選定し、人材育成プログラムの演習を通じて策定した事業計画に基づいて、捕獲技術者、自治体、土地所有者などが連携・協力した新たな捕獲体制を構築し、新たな捕獲手法も導入した効果的な捕獲を検討する。なお、この検討結果をもとに平成 28 年度に試行的捕獲の実施を予定している。

モデル地域 平成 26 年度調査結果で抽出された重点地域等をもとに、構成府県市の要望を募り選定。

募集・選定期間 7 月～

## 2. 人材育成プログラムの実施

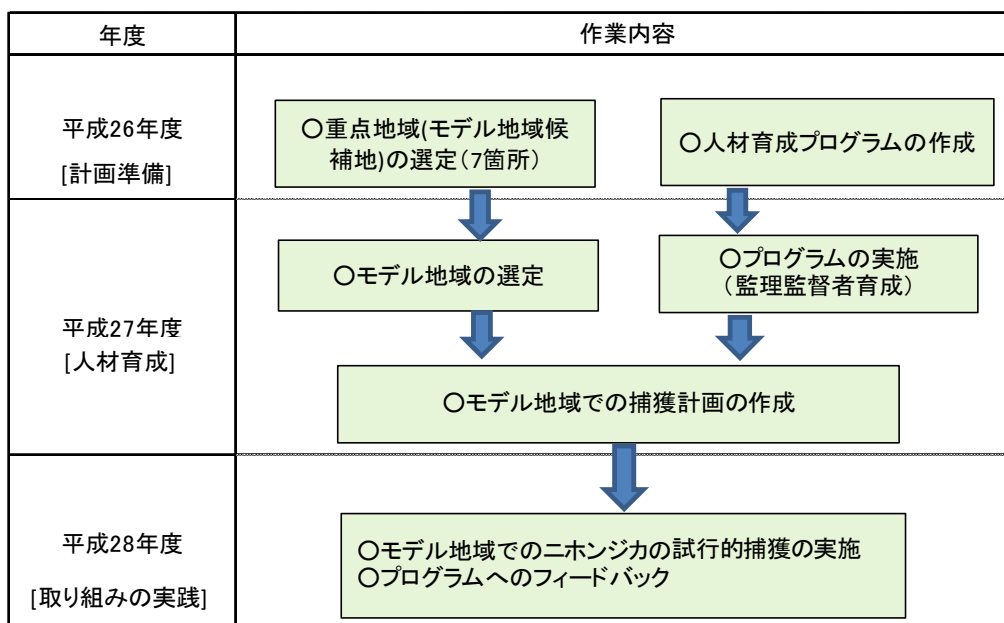
野生生物などの専門知識や先進的な捕獲技術により、地域の捕獲技術者と関係機関等をコーディネートしながら捕獲事業を監理監督できる人材を育成するためのプログラムを開設・運営する。

対象者 40 名程度（行政担当者中心）

時期 9 月～3 月（室内 2 日 現地 3 日）

募集期間 8 月中旬～9 月上旬

## ○ニホンジカ対策全体の流れ





## 重点地域の選定について

重要な種及び防災の2つの観点から平成26年度において7箇所の重点地域（保全対策の必要な地域）を選定した。

### 【モデル地域の候補地】

- ①兵庫県但馬(たじま)及び西播磨(にしはりま)
  - ・重要地点（重要な種）及び（防災）に該当。
  - ・山岳地帯であるが、林業地であるため道路網が山林内にある。
  
- ②兵庫県丹波(たんば)及び阪神(はんしん)～大阪府豊能(とよの)～京都府丹波(たんば)  
(南丹(なんたん)・亀岡(かめおか))
  - ・重要地点（重要な種）に該当。
  - ・丘陵地であり、人家や農地が比較的多い。
  
- ③京都府丹波(美山)
  - ・重要地点（重要な種）及び（防災）に該当。
  - ・市街地から離れた山岳地帯であり、人家は少ない。
  
- ④京都府左京区(さきょうく)～滋賀県大津(おおつ)
  - ・重要地点（重要な種）及び（防災）に該当。
  - ・京都府と滋賀県の県境にある山体の大きな山岳地帯。周辺道路は少ない。
  
- ⑤滋賀県東近江(ひがしおうみ)
  - ・重要地点（重要な種）及び（防災）に該当。
  - ・傾斜が急な山岳地帯。周辺道路は少ない。
  
- ⑥和歌山県日高(ひだか)
  - ・重要地点（防災）に該当。
  - ・山岳地帯であるが、林業地であるため道路網が山林内にある。
  
- ⑦徳島県三好(みよし)
  - ・重要地点（重要な種）及び（防災）に該当。
  - ・市街地から離れた山岳地帯であり、人家は少ない。

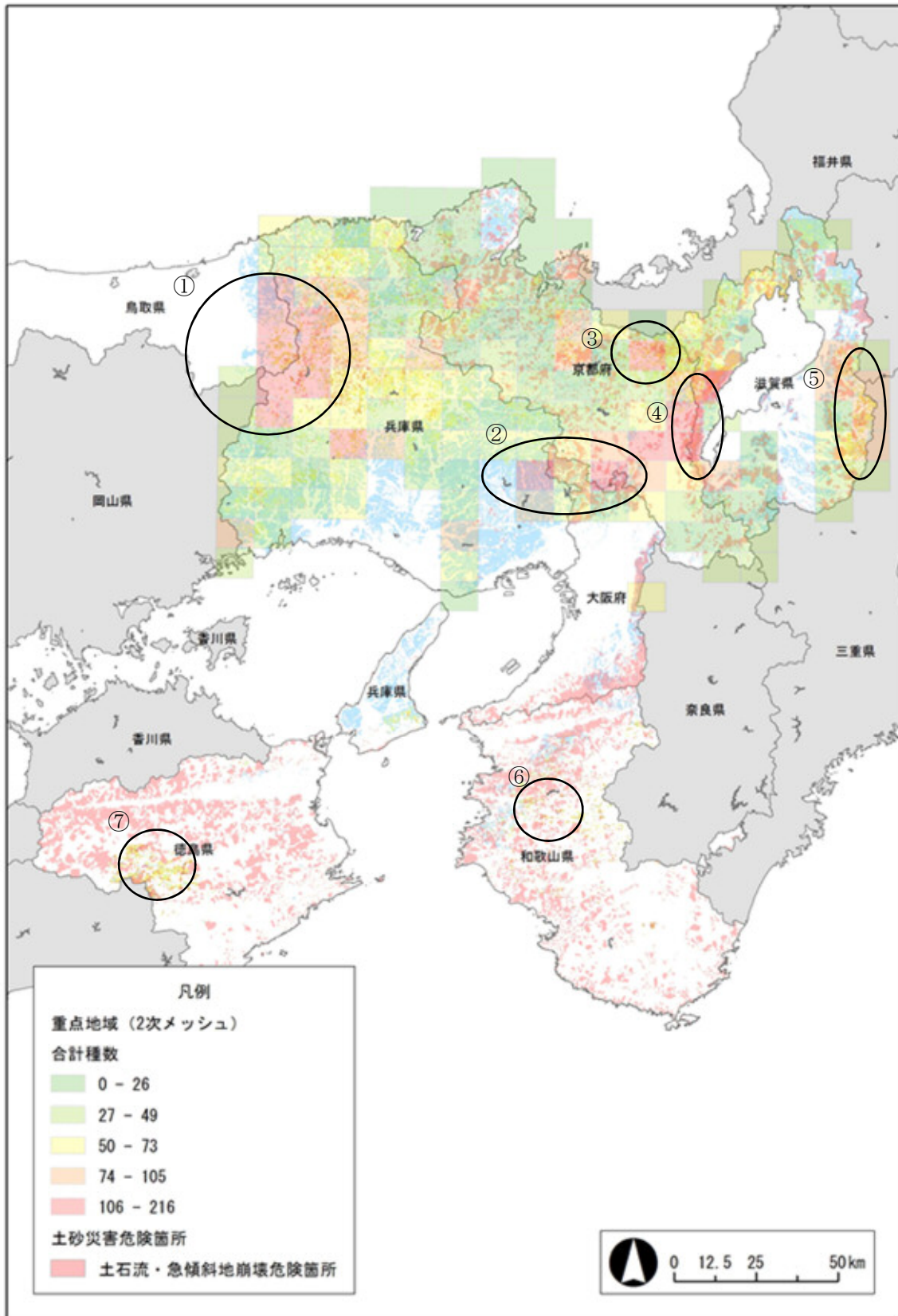


図 3.9 生態系被害対策実施にかかるモデル地域の選定結果